

科目番号	教室		登録人数	履修登録方法
学共213	[水2]文講202		60	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等	
2025	後学期	水2	国際地域創造学部国際地域創造学科	
講義コード	科目名[英文名]		単位数	
g00034002	世界史概論(西洋史)		2	
担当教員[ローマ字表記]				
池上 大祐				

授業の形態

講義

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する、学生が文献や資料を調べる

授業内容と方法

本講義は、古代から現代までの西洋史を通史的に把握ことを主眼とする。その際、西洋の国ごとの歴史の「寄せ集め」ではなく、近年注目される「グローバル・ヒストリー」という枠組みを活用した時代ごとの国家間・地域間のつながりや、帝国・主権国家・植民地主義・ナショナリズムなどの概念的理解を深めていく。授業方法は、個人ワーク・グループ討論・教員の解説講義を適宜組み合わせながら実施する。

URGCC学習教育目標

自律性・地域・国際性・専門性

達成目標

- ①毎回の事前学習の内容を自分なりに整理することができる。【関心・意欲】
- ②毎回の授業内容を理解し、疑問点や関心をもった点を説明することができる【知識・理解】【思考・判断】
- ③講義で扱った諸テーマの内容や論点について正確に表現することができる。【知識・理解】【技能・表現】

評価基準と評価方法

- 1, 講義への取り組み（30点満点）一達成目標①、②の評価
 - ・毎回の「事前学習シート」の提出15点（減点方式：1回の未提出につき2点減点。下調べが甘いものや内容が薄いものは、さらに減点する）。
 - ・毎回の「講義日誌」の提出15点（減点方式：1回の未記入につき2点減点。内容が薄く表面的な記述については、さらに減点する）。
 - *登録調整期間中に登録した際に、未登録の時期に開講された講義回については、別途指示する課題を提出することで、「講義日誌に記入した」とみなす措置をとります（それをしなければ、そのまま「未提出分」としてカウントします）。

<注意事項>

- ・遅刻限度は講義開始20分まで（それ以降は、講義日誌を受け取れません）。遅刻2回で1点減点します。
- ・琉大には「公欠」の規定がありませんので本講義でも「公欠」は一切みとめません。したがって欠席する際は自己責任で（欠席届の提出は必要ありません）。
- ・欠席が5回に達した場合は、筆記試験の受験を認めません。ただし、以下の事由の場合は、筆記試験前日までの根拠資料の提出を条件に、欠席が累積5回に達していても筆記試験の受験を認めます（累積6回以上になる場合は認めません）。
 - *忌引き：会葬礼状の写し
 - *就職試験：企業等からの案内メールの写し、または企業が発行する試験証明書
 - *部活動遠征、講義等による研修ないし実習：顧問教員・ゼミ指導教員または講義担当教員（押印必須）による欠席事由を明記した文書
 - *急病、事故等：医療機関の診断書、県警発行の事故証明書

2, 筆記試験（70点満点）一達成目標③の評価

- ・試験日：講義最終回の一週間後（上記事由で筆記試験を欠席し、根拠資料の提出があった場合のみ、予備日に追試します〔時間はこちらが決めます〕）
- ・詳細は初回講義でアナウンスします。

■ ■ 履修条件

■ ■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
 - 第2回 西洋史学の考え方
 - 第3回 前近代1：ローマ帝国の盛衰
 - 第4回 前近代2：ビザンツ帝国と神聖ローマ帝国
 - 第5回 前近代3－十字軍運動とレコンキスタ
 - 第6回 「長い16世紀」1－「大交易時代」のなかのスペイン・ポルトガル
 - 第7回 「長い16世紀」2－宗教改革のインパクト
 - 第8回 「長い16世紀」3－ウエストファリア体制とオランダ独立
 - 第9回 「長い18世紀」1－英仏植民地戦争と奴隷貿易
 - 第10回 「長い18世紀」2－市民革命と啓蒙主義
 - 第11回 「長い18世紀」3－大英帝国の覇権
 - 第12回 「長い20世紀」1－帝国主義と第一次世界大戦
 - 第13回 「長い20世紀」2－ファシズムと第二次世界大戦
 - 第14回 「長い20世紀」3－冷戦と脱植民地化
 - 第15回 まとめ
- 筆記試験

■ ■ 事前学習

事前学習用テキストの各回の課題を、「事前学習シート」を使用してこなすこと

■ ■ 事後学習

講義中で紹介された参考文献や解説をもとに、さらに自分自身が疑問におもったことを調べること

■ ■ 教科書にかかわる情報

■ ■ 教科書全体備考

初回に、事前学習用テキストを配布します。毎回必ず持参してください。

■ ■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	新しく学ぶ西洋の歴史			ISBN		備考	
	著者名	南塚慎吾ほか						
	出版社	ミネルヴァ書房	出版年	2016	NCID			
参考書	書名	西洋史の扉をひらくー通史とテーマ史でたどる古代から現代			ISBN		備考	
	著者名	上田耕造・入江幸二・比佐篤編						
	出版社	晃洋書房	出版年	2023	NCID			
参考書	書名	西洋世界の歴史			ISBN		備考	
	著者名	近藤和彦編						
	出版社	山川出版社	出版年	1999	NCID			

■ ■ 参考書全体備考

特になし。

■ ■ 使用言語

■■ メッセージ

- ・西洋史研究室で西洋史分野の卒業論文をかくために必要な基礎知識の習得を目指すことを主眼としていますが、関心と熱意さえあれば、どなたでも受講可能です。
- ・中学社会、高校地歴教職課程における「教科に関する専門的事項」の必修科目です。
- ・世界史の前提知識に自信のない方は、授業についていくことになり大変になると思いますので、毎回の事前学習のほか、中学社会科（地理歴史公民すべて）や高校世界史教科書や資料集、西洋史に関する概説書、新書などでご自身で補強してください。
- ・第2回目の講義回に班決めをおこないます。座席は固定になります。

■■ オフィスアワー

水曜日14：00～16：00
研究室：文研606

■■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■■ URL

特になし。